安 全 の 手 引 き

在フランクフルト日本国総領事館

MesseTurm,34.OG
Friedrich-Ebert-Anlage49
60327 Frankfurt am Main

TEL:069-2385730

２０１５年１月　改訂

Ⅰ　はじめに

ドイツはヨーロッパの中でも比較的安全な国といわれていますが、犯罪発生率は日本よりも高く、空港・駅・観光施設などではスリや置き引きが多発しており、旅行者、出張者、在留邦人を問わず多くの被害が報告されています。

このような犯罪被害は、心掛け次第で未然に防げる場合もあります。そこで、当館では、ドイツ滞在中の注意点やアドバイスをまとめた「安全の手引き」を作成しました。皆様のドイツ滞在中のご参考となれば幸いです。

Ⅱ　防犯の手引き

当館は、ヘッセン州、ラインラント・プファルツ州及びザールラント州の３州を管轄しています。ここでは、在留邦人の方が多く暮らすヘッセン州及びフランクフルト市の治安情勢について概説します。

１　治安情勢

（１）ヘッセン州の治安情勢

ヘッセン州は人口約610万人で、主な都市として、フランクフルト（約70万人）、ヴィースバーデン（州都､約28万人）、カッセル（約20万人）等があります。在留邦人数は、約5,000人で当館管轄域内人数のほとんどを占めています。州内の主な犯罪情勢は次のとおりです。

【2013年ヘッセン州犯罪統計（2014年３月ヘッセン州内務省発表）】

罪種		件数	前年比(%)
認知件数(総数)		386,778	▲ 2.2
殺人､傷害致死等		255	0.5
強盗		3,248	▲ 8.4
強姦､強制わいせつ等		3,273	▲ 11.2
傷害､暴行		28,952	▲ 1.5
窃盗		145,210	▲ 0.5
	軽窃盗(置き引き等)	83,206	▲ 0.8
	重窃盗(侵入窃盗等)	62,004	0.0
詐欺		69,444	▲ 9.1
薬物犯罪		20,513	5.0

（２）フランクフルト市の治安情勢

当市は、ドイツ国内でも犯罪発生率が高い都市の一つです。いくつか理由があげられますが、欧州最大規模の国際空港を抱える交通の要衝であり、観光、ビジネス等で多くの国の人々が往来していることや、不特定多数の人々の移動に伴い、犯罪者の出入りも容易であることなどから、一見治安の良い印象があるものの、結果として、犯罪発生率の高い都市となっているものと考えられます。

特に、

① フランクフルト中央駅及びその周辺風俗地区（モーゼル、エルベ、ウェーザー、ニッダの各通り（Strasse））

② フランクフルト国際空港

③ 市内繁華街（コンスターブラバッヘ～ツァイル付近）、市内観光スポット

が、犯罪の３大発生場所となっており、これらの場所では、日本人が被害に遭うスリ、置き引き等の窃盗事件等が多発しています。「自分は犯罪多発地域にいる」との認識を持ち、ご自身やご家族が事件に巻き込まれる可能性があることを念頭に置いて行動してください。

【2013年フランクフルト市犯罪統計（2014年３月市警察本部発表）】

罪種		件数	前年比(%)
認知件数(総数)		112,049	▲ 0.7
	殺人、傷害致死等	34	▲ 38.2
	強盗	1,016	▲ 7.5
	強姦、強制わいせつ等	508	▲ 18.1
	傷害、暴行	6,266	4.9
	窃盗	40,702	▲ 1.1
	軽窃盗(置き引き等)	23,251	▲ 1.1
	重窃盗(侵入窃盗等)	17,451	▲ 1.0
	詐欺	20,020	▲ 10.1
	薬物犯罪	6,886	▲ 3.6

（３）盗難被害事例

過去に当館で把握した主な被害事例は次のとおりです。

ア　ホテル内

【事例】

○　朝食ビュッフェで、バッグを座席に置いたまま料理を取りに行ったところ、何者かにバッグを盗まれてしまった。

○　椅子の背もたれにバックを置き、背中で挟みながら食事していたところ、気がついたらバックを盗まれていた。

○　チェックイン（チェックアウト）時に、足下に置いていた荷物を盗まれてしまった。

○　スーツケースの上にバックを置き、ロビーで友人と話をしていたところ、気がついたらバックのみ盗まれていた。

【ご注意】

バッグ等は決して手元から離さず、常に自分の視界の中に入れておくこと。

イ　列車内

【事例】

○　列車内で仮眠中、足下に置いておいたバックを盗まれてしまった。
○　国際列車内で荷物を棚の上に置いておいたところ、何者かが荷物をひったくり、そのまま下車して逃走してしまった。

【ご注意】

列車内での盗難被害が多く発生しています。決して油断することなく、貴重品等は内ポケットに入れるなど、常に身につけておくこと。

ウ　市内路上

【事例】

○　クリスマス市場で混雑する中、買い物をしていたところ、気がついたらカバンが開けられ中から財布等が盗まれていた。
○　車を運転中、スクーターに乗った男からパンクしていると言われ、車外に出て確認している間に車内に置いてあったバックが盗まれた。
○　散歩中「背中に鳥の糞がついている」と言われ、バックを地面に置き服を脱いでいる間に、バックを盗まれてしまった。

【ご注意】

○　バック類は、しっかり身につけておくこと。旅券や財布、航空券等をひとつのバックに入れずに、内ポケットに入れるなど、分散しておくことも重要。
○　車を運転中は、見知らぬ者からの呼び止めに不用意に応じないこと。車から降りる際は、窓を閉め確実に施錠すること。

エ　フランクフルト国際空港

【事例】

○　空港内のレストランで食事中、足下に置いておいたバックを盗まれた。
○　フランクフルト空港内のカフェで同僚３人と飲み物を注文している間に、脇に置いておいたスーツケース上のバックが盗まれていた。

【ご注意】

○　空港内では置き引き、スリが多いので、携行品は身体から離さないこと。グループ旅行であれば、荷物当番を決めて見張ることも有効。
○　機内のシートポケット内に旅券を置き忘れる事例が散見されます。旅券等の貴重品は肌身離さず携行すること。

オ　鉄道駅

【事例】

○　駅構内を移動中、リュックサックから財布等を盗まれた。
○　窓口で乗車券を購入しようとして係員と話をしている間に、カウンターに置いたカバンを盗まれた。
○　小銭の両替を要求してきた男と話をしている間に、別の男にカバンを盗まれた。

【ご注意】

○　リュックサックは背後の注意が疎かになりがち。観光スポットなど、人の多く集まる場所では、リュックサックを身体の前で抱え込むように持つこと。また、貴重品等は常に目の届くところに置くこと。
○　中央駅は犯罪多発地帯であることを念頭に行動するほか、周囲の人物にも注意する必要がある（フランクフルト中央駅のほか、ケルン中央駅及びその周辺での盗難被害も多く報告されています)。

（４）その他の被害例

ア　ニセ警察官による窃盗

当市内では、引き続き、ニセ警察官による窃盗（詐欺）の被害が発生しています。被害者はアジア系の旅行者であり、日本人も被害に遭っています。

主な手口は、

○　私服警察官と称する男に「薬物捜査のため、あなたのカバンの中を確認したい」と言われた（不審に感じた被害者が、相手の動向に注意を払いつつ、近くのホテルに逃げ込んだため、実質的な被害はありませんでした）。

○　市内観光をしていた時､警察の制服の様な服装の男２名から、身分証明証を提示された。「どこから来た」「日本円を持っているか」等の質問の後、財布内のカード類の提示を求められたため、財布を渡した。男らが立ち去った後、財布の中身を確認したところ、クレジットカードがなくなっており、カード会社に連絡したところ、何者かによりキャッシングされていた。

などとなっています。ニセ警察官は、ドイツ人以外の白人男性であることが多く、こういった不審な者に声をかけられた場合は、警察官身分証明証（Dienstausweis）の提示を求めるか、１１０番（英語可）するようにしましょう。私服警察官で、正規の身分証明証を提示せず、財布を見せるよう要請する者は、ニセ警察官です。警察では、このような捜査は行っていません。ニセ警察官は、大規模メッセ期間中に増える傾向にあるので十分注意してください。

警察官身分証明証は、警察官の職種によって異なりますが、ヘッセン州においては、次のような様式となっています。

【ヘッセン州警察　警察官身分証明証】

詳細についてはヘッセン州警察本部ウェブサイト(www.polizei.hessen.de/)をご参照下さい。

①　Schutzpolizei



②　Kriminalpolizei



③　Wachpolizei



④　Freiwilliger polizeidienst



イ　住宅での盗難

侵入窃盗による被害は依然として発生しております。。

当館で把握している事例として、旅行、一時帰国等で長期にわたり家を空けたとき、買い物や幼稚園・小学校へのお子様の送り迎え等短時間外出したとき、また、就寝中などに住居に侵入され、現金、貴重品を盗まれたという被害が発生しています。

家を不在にする場合や日本式１階部分、地下室の出入口については、複数の鍵を取り付ける等、特に念入りな戸締まりが必要です。また、長期間家を空ける場合には、近隣住民に一声掛けておくなどして、不審者のはいかいなどに注意してもらうことも一案です。日頃から近隣住民と良好な関係を保つことが大切です。

ウ　寸借詐欺

在留邦人や旅行者に対して、「財布を盗まれて困っている。後日返すので金を貸して欲しい。」などと称して金銭を寸借する詐欺も発生していますので、見知らぬ者に安易に金銭を貸さないようにしましょう。

エ　自動車盗・車上ねらい

路上や駐車場において、窓ガラスを割られ、車内のカーナビゲーションシステム、カーステレオ、バック等を盗まれる事案が発生しています。外部から見える場所には、貴重品や荷物は置かないよう注意してください。路上駐車の場合は特に注意が必要です。盗難防止センサーを取り付けたり、容易に着脱可能なカーステレオを購入し、駐車時には自宅に持ち帰るなども一案です。

２　安全対策

（１）犯罪対策

ア　凶悪犯罪対策

フランクフルト市界隈において、銃器、刃物などを使用した凶悪犯罪が発生しています。また、外国人同士の争い、けんかなども断続的に発生しています。今のところ、日本人が凶悪犯罪の被害に遭ったとの情報はありませんが、当地は日本に比べて凶悪犯罪に巻き込まれる可能性が高いことをよく認識し、日頃から行動に注意して下さい。

（ア）殺人、強盗などの凶悪犯罪から自分の身を守るためには、危険な場所に近づかないことが第一です。具体的には、フランクフルト中央駅及び周辺の風俗営業地域が最も危険な地域です。また、深夜１時以降（終電後）の中央駅、コンスターブラバッヘ（Konstablerwache)駅及びその近辺は、麻薬常用者や密売人が徘徊することが多い区域です。人通りが少なく、夜間の照明が不十分な場所には、不用意な立ち入りを避けるべきです。

（イ）拳銃・ナイフ等の凶器を使用した強盗に遭った際は、身の安全を第一に考えて、

- 相手を興奮させない
- 無理に抵抗しない
- 少額の現金を準備しておく

ことなども、状況によっては身を守ることにつながります。日本の感覚で対応しないことが重要です。

イ　一般犯罪対策

被害件数の多い、置き引き、スリなどの窃盗・詐欺に対する安全対策としては、次のとおりです。

（ア）財布、旅券等は上着の内ポケットに入れるなど、肌身離さず携行すること。

（イ）財布、旅券等を頻繁に出し入れしないこと。

（ウ）携行品、手荷物から目を離さないこと。カバンやバッグを肩に掛けた場合でも、手を添えたり、身体の前に抱えるなどすること。

（エ）クレジットカード使用時は、必ず目の前で決済処理させること。

ウ　住居での盗難

（ア）家を覗っている不審者がいないか、普段から注意を払う。

（イ）鍵の点検、補強に努める。外出時は鍵が二重ロックになっているか確認する。

（ウ）新規入居時に鍵は変更されているか。

（エ）長期不在時の措置

- タイマー等を使用しての夜間照明（無人であることを外部から容易に分からせないようにする。）
- 新聞配達の一時停止
- 郵便物の定期的な回収依頼（近隣・知人などに予めお願いしておく）
- 近隣、近所との良好な人間関係をつくり、出かける前に一言かける。

（２）交通事故対策

ドイツにおいても日本と同様に、飲酒運転の禁止やチャイルドシート、シートベルトの着用、携帯電話の禁止などの交通法規があり、取り締まりも厳しく

行われています。交通事故防止のためには、これら交通法規を遵守し、安全運転に努めることは当然ですが、日頃から車両の整備、冬場の早めのタイヤ交換などにも留意して交通事故防止に配意した安全運転を心掛けてください。万が一、事故を起こしてしまった場合は、その場に車両を停止させ、すぐに警察に通報してください。警察が到着する前に車両を移動したり、事故現場から立ち去ったりした場合は、当て逃げ、ひき逃げとみなされることもあります。また、保険会社の連絡先等を控えておき、万一に備えてください。

（３）テロ・誘拐対策

ア　テロ対策

当地では、邦人を対象としたテロ事件は発生しておりません。しかし、２０１１年３月、フランクフルト国際空港において、米軍バスを狙った銃撃事件が発生し、米兵４名が死傷したほか、２０１５年１月には、パリで連続テロ事件が発生し、その直後にハンブルクで風刺画を転載した新聞社が放火されるなど、テロを巡る情勢は予断を許さない状況にあります。テロの巻き添えにならないために、次の留意事項を参考に、十分注意してください。

・　平素からテロに関する情報を入手しておく。
・　外国人の多数集まる場所やデモ等不特定多数の人が集まる場所にはみだりに近づかない。
・　外出する際には、職場や家族に行き先や帰宅予定等を知らせておく。
・　小包等の開閉は、見知らぬ差出人からの場合には特に注意し、形状、重量、匂いなどに不審な点があるときは、警察に通報する。
・　予告電話や疑わしい電話があったときは、警察に通報する。

イ　誘拐対策

ドイツにおいても邦人が誘拐事件の対象となる可能性は排除できません。

過度に警戒する必要はありませんが、誘拐の対象にされにくいように平素から心掛けることが大切です。

・　日常行動のパターン化を避け、目立った行動をとらない。
・　家族の行動予定の相互確認
・　家族に対する注意喚起

特に、児童・幼児については、

・　単独行動を控えさせる。
・　見知らぬ人についていかせない。
・　暗がり、通行人の少ない場所には立ち入らせない。

などの注意が必要です。

さらには、住宅周辺での見慣れない車両の駐車、不審者の徘徊などにも気を配るほか、アウトバーンなどで車両故障などによる救助を求められた場合でも、直ちに停車せず、最寄りのガソリンスタンドなどから警察に通報することも考慮してください。

（４）デモ・騒乱等

当地には、欧州中央銀行や大銀行の本社が所在することなどもあり、例年、欧州各地から数万人が参加し、反資本主義、格差是正等を訴える大規模デモが行われています。また、最近では、PEGIDA（欧州のイスラム化に反対する愛国主義）によるデモや、これに反対する対抗デモがドイツ全土で行われています。こうし

たデモはおおむね平和的に行われていますが、一部の参加者が暴徒と化し、暴力的行為に走ることもありますので、人だかりや騒乱状態にある場所には不必要に近づかないなど注意をお願いします。

３　緊急時の連絡先

（１）日本国大使館・総領事館

ア　在フランクフルト日本国総領事館
電話：０６９－２３８５７３０　ＦＡＸ：０６９－２４２７９２５０
住所：MesseTurm 34.OG, Friedrich-Ebert-Anlage 49
60327　Frankfurt am Main
※　上記の番号は、当館代表電話（営業日の9:00～16:30）ですが、 上記時間外でも緊急事態が発生した場合には当館担当者につながります。

イ　在ドイツ日本国大使館
電話：０３０－２１０９４０　ＦＡＸ：０３０－２１０９４２２２

ウ　在デュッセルドルフ日本国総領事館
電話：０２１１－１６４８２０　ＦＡＸ：０２１１－３５７６５０

エ　在ハンブルグ日本国総領事館
電話：０４０－３３３０１７０　ＦＡＸ：０４０－３０３９９９１５

オ　在ミュンヘン日本国総領事館
電話：０８９－４１７６０４０　ＦＡＸ：０８９－４７０５７１０

（２）警察　緊急電話「１１０」

※　フランクフルト市警察本部
住　所：Adickesallee70
電　話：０６９－７５５０又は０６９－２５５５－０

※　フランクフルト市内警察署
中央駅付近は第４分署、市内中心部は第１分署が管轄です。

分　署	管　　轄	住　　所	電話番号
第１分署	Innenstadt	Zeil 33	069-75510100
第２分署	Nordend	Mercatorstr 50	069-75510200
第３分署	Westend及びNordend	Adickesallee 70	069-75510300
第４分署	Bahnhofgebiet	Gutleutstr 112	069-75510400
第５分署	Ostend	Ferdinand-Happ-str32	069-75510500
第６分署	Bornheim及びSechbach	Turmstr 7-9	069-75510600
第７分署	Fechenheim	Pfortenstr 1	069-75510700
第８分署	Sachsenhausen	Offenbacher Landstr29	069-75510800
第10分署	Niederrad	Goldsteinstr 126	069-75511000
第11分署	Rödelheim及びHausen	Westerbachstr 37-43	069-75511100

第12分署	Eschersheim	Am Schwalbenschwanz3	069-75511200
第13分署	Bockenheim	Schlossstr 88-90	069-75511300
第14分署	Nordwest及びPraunheim	Tituscorso 8	069-75511400
第15分署	Frankfurter Berg	Wickenweg 92	069-75511500
第16分署	Griesheim	Frankenallee 365	069-75511600
第17分署	Höchst	Gebeschusstr 10	069-75511700
第18分署	Bergen-Enkheim	Florianweg 8	069-75511800
第19分署	Flughafen	Gebäude201,Tor12	069-75511900

（３）救急・消防　緊急電話「１１２」

（４）クレジットカード紛失・盗難被害時の連絡先

盗難・紛失連絡先 （ドイツ発信番号，日本語対応）

	会社名	電話番号
携帯電話	NTTドコモ 紛失・故障・各種問合せ番号(24H)	00-800-01200151
		00-81-3-6832-6600
	au 紛失・盗難各種問合せ番号(24H)	00-800-00777113
		00-81-3-6670-6944
	ソフトバンクモバイル・国際コールセンター(24H)	0081-92-687-0025
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ	Visaカード グローバルカスタマーアシスタンス(24H)	001-303-967-1090
	三井住友・ゆうちょ銀 VISAカード 紛失・盗難受付デスク(24H)	00-800-12121212
	三菱東京UFJ VISAカード IC・DCホットライン(24H)	00-800-37701818
	JCBカード 紛失・盗難海外サポート(24H)	0800-1-82-2991
	UCカード 紛失盗難受付(24H)	00-800-80058005
	アメリカン・エクスプレス グローバルホットライン(24H)	0800-181-0778
	マスターカード緊急サービス番号(24H)	0800-819-1040
ｷｬｯｼｭｶｰﾄﾞ	三井住友銀行 キャッシュカード 紛失・盗難ATMセンター(24H)	0081-3-6850-1000
	三菱東京UFJ銀行 キャッシュカード 喪失センター(24H)	0081-3-5637-0875
	みずほ銀行 キャッシュカード 紛失(24H)	0081-3-5500-3737
その他	トラベレックス緊急アシスタンスサービス・キャッシュパスポート(24H)	0800-1800-756
	ウエスタンユニオン・カスタマーサービスセンター(日本語対応時間 9:00～22:00)	0061-2-9226-9554

※　ドイツから発信する場合の電話番号（2015年１月現在)。
変更される場合もありますので、詳しいサービス内容や最新の電話番号は、

ご自分の加入している銀行、カード会社等にご確認下さい。

4　被害届出証明書の発行依頼

被害届出証明書を発行してもらうには、別添１のフォームに必要事項をドイツ語又は英語で記入、あるいは該当する□にチェックをして警察に提出してください。

Ⅲ　在留邦人用緊急事態対処マニュアル

1　平素の準備と心構え

（1）連絡体制の整備

ア　在留届を必ず提出してください。また、ご家族の帰国、転居等在留届の記載内容に変更があったときは必ず、総領事館に届出てください。（変更の届出は、ＦＡＸ、電話やインターネットの在留届電子届出システムでも受付けています。）

イ　緊急連絡は、在留届に基づいて行いますが、在留邦人の皆様が組織しているグループや団体などで独自の連絡網を有しておられましたら、総領事館にご連絡願います。これらの連絡網を総領事館からの緊急事態の際の連絡網に組み込んでいきたいと考えております。

ウ　緊急事態はいつ起こるとも限りません。そのような場合に備え家族間、企業内での緊急連絡方法等を平素から決めておき、適宜、連絡方法等を確認してください。また、各自の日常の所在も家族や同僚等に知らせておくことが大切です。

エ　他国へ３ヶ月未満の旅行に行かれる場合には、たびレジへご登録のうえ（https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/）、事前に旅行先国の渡航情報を確認するとともに、不測の事態に備えておくことをお勧めします。

（2）緊急事態における携行品、非常用物資の準備

ア　旅券、住民登録証明書のほか、最低限必要な現金は、直ちに持ち出せるようにあらかじめまとめておきます。

イ　緊急時には一定期間自宅での待機を余儀なくされることもあります。非常用食糧品、医薬品、燃料などを家族構成にあわせ、平素から準備しておくことが望まれます。

ウ　準備についてのチェックリストは別添２のとおりです。

2　緊急時の行動

（1）心構え

平静を保ち、流言飛語に惑わされたり、群集心理に巻き込まれることのないように注意してください。

（2）情報の把握

ア　総領事館からの情報は、当館ＨＰ、ラインマイン通信、緊急連絡網等により提供します。

イ　緊急事態発生の際には、当地報道、JSTV、インターネットなどによる正確な情報収集を各自心がけてください。なおこの他にも、外務省海外安全

ホームページ(http://www.anzen.mofa.go.jp)や、NHKワールド海外安全情報(http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/anzen/)等がありますので、あわせてご利用下さい。

（３）総領事館との連絡等

ア　ご自身や家族又は他の在留邦人の生命・身体・財産に危害が及んだとき、または及ぶ恐れがあるときは、迅速かつ具体的にその状況を総領事館にお知らせください(当館代表電話：069-2385730)。

イ　緊急事態発生の際には、お互いに助け合って対応に当ることが必要になります。場合によっては、在留邦人の皆様に総領事館から種々お願いすることもあるかと思いますが、その際にはよろしく御協力をお願いします。

別添１

Meldedatum　　Tag　　Monat　　Jahr
（届出年月日）　　日　　月　　年

Geschädigter（被害者）

Name（姓）　　Vorname（名）
Geburtsdatum （誕生日）　　Tag　　Monat　　Jahr
日　　月　　年
Geburtssort（出生地）
Beruf（職業）
Staatsangehörigkeit（国籍）
Adresse（住所）
Aufenthaltsort in Deutschland（ドイツでの滞在先）
Telefonnummer（電話番号）

Antragsteller（届出人）

Name（姓）　　Vorname（名）
Geburtsdatum　　Tag　　Monat　　Jahr
（誕生日）　　日　　月　　年
Geburtssort（出生地）
Beruf（職業）
Staatsangehörigkeit（国籍）
Adresse（住所）
Aufenthaltsort in Deutschland（ドイツでの滞在先）
Telefonnummer（電話番号）

Angaben zum Zeitpunkt des Vorfalls（被害発生年月日、時間）

Tag　　Monat　　Jahr　　Uhrzeit von　　:　　Uhr bis　　:　　Uhr
日　　月　　年　　時　　分から　　時　　分までの間

Angeben zum Wochentag（曜日）※　該当する曜日を〇で囲む

Mo	Di	Mi	Do	Fr	Sa	So
月	火	水	木	金	土	日

Angaben zum Tatort（被害発生場所）

☐ An der U-Bahn / S-Bahn Station（地下鉄/市内電車の駅で）
Name der Haltestelle（駅名）
☐ In der U-Bahn / S-Bahn Station（地下鉄/市内電車の中で）
Linie Nr（路線番号）
☐ Am Bahnhof（鉄道の駅構内で）
Name des Bahnhofs（駅名）
☐ Im Zug（電車内で）
☐ Am Flughafen（空港で）
☐ Im Taxi （タクシー内で）
☐ Im Hotel（ホテルで）
☐ In der Lobby（ロビーで） ☐ Im Zimmer（部屋内で）
Name des Hotels （ホテル名）
☐ Im Cafe / Restaurant（カフェ/レストランで）
Name des Cafe / Restaurant（店名）
☐ Im Geschäfts（店で）
Name des geschäfts（店名）
☐ Im Museum（美術館で）
Name des Museums（美術館名）
☐ Sonstiges（その他）

Deliktart（犯行の種類）

☐ Diebstahl aus Tasche,Gepäckstück（置き引き）
☐ Taschendiebstahl（スリ）
☐ Handtaschendiebstahl（ひったくり）
☐ mit dem Fahrrad（自転車で） ☐ mit dem Motorrad（バイクで）
☐ Erpressung,Bedrohung （ゆすり・恐喝） ☐ Betrug（詐欺）
☐ Raub（強盗）
☐ mit dem Messer（ナイフで） ☐ mit der Pistole（ピストルで）
☐ Gewalt,Verletyung（暴行・傷害）
☐ Art der Verletzung （けがの場所）
☐ Bein（足） ☐ Arm（腕） ☐ Kopf（頭）
☐ Bauch（腹） ☐ Sonstiges（その他）

Schaden（被害品目）

☐ Brieftasche（カード入れ） ☐ Portemonnaie（財布）
☐ Handtasche（ハンドバック） ☐ Reisetasche（ボストンバック）
☐ Koffer（スーツケース）

☐ Bargeld（現金）
☐ Euro ☐ Yen ☐ $ ☐ Sonstiges(その他)
Summe（金額）
☐ Reiseschecks（トラベラーズチェック）
☐ Euro ☐ Yen ☐ $ ☐ Sonstiges
Summe（金額）
☐ ReisePass（旅券） Nr.（番号）
Ausstelldatum Tag Monat Jahr
（発行年月日） 日 月 年
☐ Flugticket（航空券）
☐ Personalausweis（身分証明書） ☐ Führerschein（運転免許証）
☐ Kamera（カメラ） ☐ Videokamera（ビデオカメラ）
☐ Schmuck（アクセサリー）
☐ Kette（ネックレス） ☐ Ring（指輪） ☐ Armband（ブレスレッド）
☐ Ohrring（イヤリング） ☐ Uhr（時計）
☐ Sonstiges Schmuckstücke（その他）
Gesamtwert （被害金額総計・ユーロ換算） EUR

Angaben zum Täter（犯人の人相）

Haben Sie die Täter gesehen（犯人を見ましたか。）
☐ Ja（はい） ☐ Nein（いいえ）
Anzahl der Täter（人数）
☐ eine Person（１人）
☐ mehrere Personen（複数） Gesamtzahl（人数を記入）:
Geschlecht（性別） ☐ mäaalich（男） ☐ weiblich（女）
Sonstige Merkmale（その他の判別） ☐ Erwachsener（大人） ☐ Kind（子供）
Alter（年齢）
☐ jung（若い） ☐ mittelalt（中年） ☐ alt（年寄り）
Äußere Merkmal（人的特徴）
Größe（背丈） ☐ groß（高い） ☐ klein（低い）
☐ normal（ふつう） ca.（約） cm
Statur（体つき） ☐ dick（太い） ☐ schmal（細い）
☐ muskulös（筋肉質） ☐ dünn（痩せている）
Aussehen（外観）
☐ europäisch（ヨーロッパ人） ☐ afrikanisch（アフリカ人）
☐ arabisch（アラブ人） ☐ asiatisch（アジア人）
☐ latein-amerikanisch（ラテン・アメリカ人）

Haarfarbe（髪の色）
☐ blond（金） ☐ braun（茶） ☐ grau（白）
☐ schwarz（黒） ☐ rot（赤） ☐ Glatze（はげ）

Sonstiges（その他）

☐ Kinnbart（あごひげ） ☐ Schnäuzer（口ひげ） ☐ Brille（メガネ）
☐ Narbe（傷跡） ☐ Tätowierung（入れ墨） ☐ Piercing（ピアス）
☐ Sonstiges（その他）

☐ Auto （自動車） ☐ Motorrad（オートバイ）

Farbe（色）☐ Weiß（白） ☐ Schwarz（黒） ☐ Grau（グレー）
☐ Rot （赤） ☐ Grün（緑） ☐ Grau Metallic（シルバー）
☐ Gelb（黄） ☐ Hellblau（空色） ☐ Dunkelblau（濃紺）
☐ Sonstiges（その他）

Hersteller（メーカー名）
☐ Mercedes-Benz ☐ BMW ☐ Audi
☐ VW ☐ Opel ☐ Sonstiges

Kennzeichen（ナンバープレート）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

別添２

緊急事態に備えてのチェックリスト

□　旅券、運転免許証等

旅券については、常時６ヶ月以上の残存有効期間があることを確認しておいてください。（残存有効期限が１年以内であれば随時切り替え発給の申請ができます。）旅券の最終頁の「所持人記載欄」は必ず記載しておいてください。同欄余白には血液型（Bloodtype）を記入しておくことが望まれます。

□　現金、貴金属、貯金通帳等の有価証券、クレジットカード

これらは旅券同様にすぐ持ち出せるように日頃から保管場所を確認しておいてください。

□　自動車の整備等

自動車をお持ちの方は常時整備しておくよう心がけてください。
燃料は常時十分入れておくようにしてください。
車内には、常時、懐中電灯、地図等を備え置きください。

□　携行品の準備

避難場所への移動を必要とする事態に備え、上記に加え次の携行品を備え置き、いつでも持ち出せるようにしておくことが望まれます。

□　衣類・着替え（長袖、長ズボン。行動に便利なものが望ましい）
□　履物（行動に便利なもの）
□　洗面用具（タオル、歯磨きセット、石鹸等）
□　非常用食料等（しばらく自宅待機する場合も想定して、米、調味料、缶詰類、インスタント食品、粉ミルク等の保存食及びミネラルウォーターを家族全員で数日間程度生活できる量）
□　医薬品等（家族用常備薬のほか、常用薬、外傷薬、消毒用石鹸、衛生綿、包帯、絆創膏、オムツ、生理用品）
□　ラジオ
NHK海外放送（ラジオジャパン）、BBCなどの短波放送が受信できる電池使用のもの（電地の予備を忘れないようにしてください）。
□　その他
□　懐中電灯　□　ライター □　ロウソク　□　マッチ　□　ナイフ　□　缶切り
□　栓抜き　□　紙製食器　□　割り箸　□　固形燃料　□　簡単な炊事用具類
□　携帯電話充電器　□　予備の強力バッテリー　□　筆記具　□　メモ用紙